

*** 環境クイズ * 環境問題**

問題1

1978年制定された自動車の排出ガス規制の通称は？

- ①日本版マスキー法 ②ディーゼル汚染防止法 ③ヘクター法

問題2

次のうち環境ホルモンの疑いのあるものは？

- ①DDT ②劣化ウラン ③トリクロロエチレン

問題3

フロンが破壊するオゾン層は地球上空のどこにある？

- ①対流圏 ②中間圏 ③成層圏

問題4

京都議定書の対象になった温室効果ガスではないものはどれ？

- ①二酸化炭素(CO2) ②メタン ③亜硫酸ガス

問題5

酸性雨発生の原因物質は？

- ①二酸化硫黄、窒素酸化物 ②ダイオキシン ③ホルムアルデヒド

問題6

2004年、東京の真夏日は何日連続した？

- ①25日 ②40日 ③50日

問題7

このまま、二酸化炭素の排出が改善されないと、地球の温度は2100年に最大何度上がる？

- ①1. 5℃ ②5. 8℃ ③10. 0℃

問題8

世界の森林面積のうち、熱帯林はどのくらい占めている？

- ①約3分の1 ②約2分の1 ③約4分の1

問題9

愛知万博には、おおよそ何カ国が参加しましたか？

- ①約70カ国 ②約120カ国 ③約200カ国

*** 循環型社会 エコタウン ***

北九州の中心街から車で約30分。日本の近代産業の原点ともいえる新日本製鉄八幡製鉄所を通り過ぎると、洞海湾を新たに埋め立てた工業団地が姿を現す。市が未来を託す北九州エコタウンだ。

約6.5ヘクタールの実証研究エリアでは、九州大学や新日鉄など産官学の17施設が廃棄物の浄化や再資源化の研究を進めている。その奥には約19ヘクタールの総合環境コンビナートが整備され、そこにはテレビや冷蔵庫を年間50万台処理する家電リサイクル工場のほか、パソコンや食用油、古紙、空き缶など13の再生工場が進出している。

更に海岸には風力発電の風車が立ち並び、廃棄物と再生資源の専用埠頭(ふとう)『リサイクルポートが』今春に開港する予定だ。官民合わせて540億円を投資したというこの埋立地全体が、資源循環型社会の未来を表しているかのようだ。

エコタウンは政府と地方自治体が協力し、各地の事情に合わせてリサイクル産業の育成を図る新たな町づくり事業だ。廃棄物を再資源化して別の産業向けに転用し、地域全体でゴミを出さない『ゼロエミッション』を目指す。廃棄物の埋め立て処分場不足を解消することも大きな狙いだ。

平成9年に制度化されたエコタウンは現在、全国で26地域が承認されている。この北九州は最初に承認された地域の一つだが、リサイクル産業の集積度が高く、企業間の連携が最も進んだ成功例と評価されている。

ここでは廃コピー機から取り出された蛍光管が専用工場で処理され、ガラスや金属、蛍光体などの資源として再生される。再資源化が難しい廃プラスチックは発電用の燃料にされ、その電力は各リサイクル工場に還元されている。

成功の原動力は、かつての公害を克服した市の歴史にある。昭和30年代、洞海湾は工場廃水で『死の海』と化し、排煙からはススが降り注いだ。しかし、『青空が欲しい』と訴えた婦人会の運動をきっかけにして行政と企業が対策を進めた結果、今では約100種類の海洋生物が生息する美しい海がよみがえり、青空が戻った。官民一体で公害対策に取り組んだ経験や環境意識が今、エコタウン最大の推進力ともいえる。

それでも課題は残されている。再資源化された金属や樹脂、燃料などの価格が市況の動きに左右され、採算割れになる恐れがあることだ。安定したリサイクルの輪の確立には、更なるコストダウンが欠かせない。

こうした課題の解決策となり得る事例も現れている。羽田空港に隣接する建設混合廃棄物処理施設『東京臨海エコ・プラント』だ。

ビルの建設・解体現場から排出される建設廃材はガラスやコンクリート片、木片、プラスチックなどが交ざり、廃棄物の中でも最も再資源が難しいとされる。リサイクル率は平均1～2割とされる。ここでは重量比93%と並外れたリサイクル率を誇る。

このプラントを運営する高俊興業(東京)は、20台以上の自動選別機と手作業に交えて廃棄物の分別を徹底化し、再資源化の大量生産を実現した。工場内に舞う大量のほこりさえ、強力な集塵機で吸い取ってセメントに練り込み、建設資材に再生してしまう。

新鮮な酸素を含んだ血液を運ぶ動脈と運び終えた血液を再び心臓に送り返す静脈。産業の流れは、こうした血液の循環にも例えられ、廃棄物を回収するリサイクル産業は静脈産業とも呼ばれる。だが、エコタウンにおける取組みは、リサイクル産業を逆に資源を供給する動脈産業への変貌させる可能性を示している。

*** 解説《中国版RoHS指令》CD-R版を購入 ***

服部専務の指示により、解説《中国版RoHS指令》CD-R版を購入しました。サイボウズの文書管理のISO14001関係に掲載しています。
必要な方は一読願います。

*** 健康管理は環境管理？ ***

年末年始の暴飲暴食がたたって、ちよっぴり体重が増えた事を気にしている方も多いと思います。実は昨年よく耳にした言葉の中に、メタボリック症候群と言うのがありました。食生活の変化や運動不足が原因で肥満が増え、成人病や生活習慣病の予備軍と呼ばれる人達が過去に類を見ないほど増えてしまったのです。

勿論、病気になれば本人が一番辛いのですが、同時に環境負荷も増やしてしまうのです。現在の高度医療で使用される器具や消耗品は当然のことながら人命最優先のため塩素系等、環境負荷の高い物質を使わざるを得ません。

医療廃棄物以外にも油分や塩分の多い食事はどうでしょうか？近年増加する一般家庭の廃棄油の処理に頭を悩ませる自治体も多く、バイオエタノール等、燃料化するリサイクル施設を造るところが増えました。放置すれば新たな水質汚染などを招くからです。

また日本には食品リサイクル法と言う食品廃棄物(残飯)を原料に家畜の飼料や農業用の肥料化を奨励する法律があるのですが、これが中々進まない原因のひとつが残飯に含まれる塩分の高さと言われていいます。実は日本人は世界的に見ても非常に塩分の高い食事を好む傾向が強く、廃棄された食品の平均塩分濃度は5%以上ある為、このままでは飼料や特に肥料には(塩分が高すぎて農作物が枯れてしまう)使用することが出来ず、農家に受け入れてもらうには、手間とコストのかかる脱塩処理をしなければならぬのです。

何も難しいことをしなくても、自分の身体を気遣い、健康管理をするという極々当たり前のことが環境貢献に繋がるかも知れませんネ！

発行部門 ISO事務局	環境ニュース	2007年1月12日(金)発行 第二十八号(3ページ)
<p align="center">* ホッキョクグマを温暖化から守れ 海水解け、米 絶滅危惧種に指定へ *</p>		
<p>米政府は2006年12月27日、ホッキョクグマを絶滅危惧種に指定する方針を発表した。北極海の海水が気温上昇で解け、強力な保護策を講じなければ絶滅する危険があるためだ。ホッキョクグマは飲料水『ココ・コーラ』のCMに使われるなど米国民に人気の高い動物。地球温暖化問題に対するブッシュ政権の消極姿勢に何らかの影響を与えたとの見方も出ている。</p> <p>米国のホッキョクグマはアラスカ州に生息。米国最大の油田やガス田があり、国内には掘削拡大による増産を求める声が根強い。</p> <p>スイスに本拠を置く国際自然連合(IUCN)によると、北極全体に生息する数は2万~2万5000匹で、今後45年で30%減少と予測。地球上の海水自体は50年~100年で50%縮小すると観測している。</p> <p>地球温暖化はホッキョクグマの『最大の脅威』だが、ブッシュ政権は温室効果ガスと地球温暖化の科学的因果関係は明確でないとしており、排出量の強制削減にも消極姿勢だ。</p> <p>しかし、絶滅危惧種指定が実現すれば『巨大な政治的、現実的なインパクトをもたらす可能性がある』と米紙ワシントン・ポストは指摘している。</p>		
<p>* 環境クイズ 答え *</p>		
<p>問題1 答え① 解説: 1970年に米民主党のマスキー上院議員が提案したマスキー法は、ガソリン乗用車の一酸化炭素、炭化水素、窒素酸化物の排出を当時の10分の1までに削減するという内容。日本版マスキー法はこれと同時に削減を求めたもので、厳しい排出規制をクリアするためのエンジン技術の研究開発が、その後の日本車の低燃費、信頼性向上に役立ったといわれている。</p> <p>問題2 答え① 解説: 劣化ウランは原発などの燃料として天然ウランからウラン235を濃縮した時に出る残りかす、トリクロエチレンは有機塩素系溶剤、DDTは有機合成殺虫剤である。</p> <p>問題3 答え③ 解説: オゾン層は地上から10~50km上空の成層圏にあり、その中でも20~30kmにもっともオゾンが広がって層をつくっている。</p> <p>問題4 答え③ 解説: 京都議定書で温室効果ガスとして削減対象になったのは、二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロンガスのHFCとPFCそれにSF6(六フッ化硫黄)の6種類。</p> <p>問題5 答え① 解説: 自動車の排気ガスや石油、石炭などの化石燃料を燃焼させた際に出る二酸化硫黄や窒素酸化物などが、主な原因と考えられている。二酸化硫黄は大気中で硫酸に、窒素酸化物は硝酸に変化する。</p> <p>問題6 答え② 解説: 真夏日とは最高気温が30℃以上のことをいい、東京では7月6日~8月14日まで、連続40日間続いた。</p> <p>問題7 答え② 解説: IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が2001年に発表した第3次レポートによると、地球平均地上気温は1.4~5.8℃上がると予想されている。急激に温暖化が進んだといわれる氷期から間氷期の100年でも0.8℃の上昇が考えられているから、このままのペースで上がるとかってない上昇となる。</p> <p>問題8 答え② 解説: 国連食糧農業機関(FAO)の2000年のデータによると、世界の森林のうち熱帯林は47%と約半分を占める。その熱帯林で、毎年日本の3分の1もの面積が減少している。</p> <p>問題9 答え② 解説: 参加国は、日本を含め、ヨーロッパ、中東、アジア、アメリカなどの121カ国が参加。国際機関として国際連合を含め4つの機関が参加。</p>		